



## 2019年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年11月6日

上場会社名 ネットン(高周波熱錬株式会社) 上場取引所 東  
 コード番号 5976 URL <http://www.k-neturen.co.jp/>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長(氏名) 溝口 茂  
 問合せ先責任者(役職名) 管理本部経理部長(氏名) 青井 隆明 (TEL) 03-3443-5441  
 四半期報告書提出予定日 2018年11月9日 配当支払開始予定日 2018年12月10日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2019年3月期第2四半期の連結業績(2018年4月1日~2018年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	26,080	12.6	1,894	14.8	2,268	18.4	1,377	△3.8
2018年3月期第2四半期	23,165	14.7	1,650	63.4	1,915	66.8	1,432	71.0

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 801百万円(△57.2%) 2018年3月期第2四半期 1,872百万円( -%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	33.60	—
2018年3月期第2四半期	34.48	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第2四半期	83,564	66,361	71.8
2018年3月期	82,110	66,120	72.8

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 60,037百万円 2018年3月期 59,805百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	11.00	—	11.00	22.00
2019年3月期	—	12.00	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	—	—	13.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日~2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	52,000	6.2	3,700	1.2	4,100	△1.6	2,500	△16.8

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料6ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2019年3月期2Q	43,790,500株	2018年3月期	43,790,500株
2019年3月期2Q	2,783,466株	2018年3月期	2,782,916株
2019年3月期2Q	41,007,312株	2018年3月期2Q	41,553,022株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

当資料に記載の将来に関する予測数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により開示した予測数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(第2四半期決算説明会内容の入手方法)

第2四半期決算説明会(機関投資家、アナリスト向け)は、2018年11月22日に開催する予定であります。なお、第2四半期決算補足説明資料(第2四半期決算説明会資料)は、説明会終了後にT D n e t及び当社ホームページで開示いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	6
(セグメント情報) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、全体的には緩やかな回復基調で推移いたしました。また、世界経済は、米中貿易摩擦などの不安要因はあるものの、米国や欧州においては比較的堅調に推移し、中国においては建機需要に繋がるインフラ投資や、工作機械及び産業機械の設備投資に繋がるロボット・通信関連需要が拡大しました。

このような状況のもと、当社グループは、第14次中期経営計画「Accomplish V-20」（2018年4月より2021年3月までの3ヵ年計画）に掲げた基本方針である「新技術・新商品・新規事業の迅速な開発と市場投入」、「現在と将来を担うグローバル人財の確保と育成」、「安全・品質・CSR活動のグローバル体制の構築」を推進し、企業価値の向上を図ってまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は26,080百万円(前年同期比12.6%増)、営業利益は1,894百万円(前年同期比14.8%増)、経常利益は2,268百万円(前年同期比18.4%増)、前年同期と比較して特別利益が少額であったことなどにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,377百万円(前年同期比3.8%減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ① 製品事業部関連事業

建築関連製品の売上高は、当社の製品が採用された大型プロジェクトが好調に推移したことから、前年同期と比較し増加したものの、土木関連製品の売上高は、主要顧客が販売する市場が伸びなかったこと、更に、関連部材の製造開始遅延等に伴う着工遅れなどにより、前年同期と比較し減少いたしました。一方、高強度ばね鋼線（ITW）の売上高は、国内では伸びなかったものの、海外での販売が堅調に推移したことにより、前年同期と比較し増加いたしました。

この結果、売上高は10,827百万円(前年同期比6.2%増)、営業利益は772百万円(前年同期比2.3%増)となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間において、新商品であるダブルスタークの製造販売を開始しております。

#### ② IH事業部関連事業

熱処理受託加工関連の売上高は、自動車向けや工作機械向けの受注が堅調に推移したこと及び新規事業であるマイルド浸炭事業を順調に進捗させることができたことなどにより、前年同期と比較し増加いたしました。また、自動車部品関連の売上高は、前年同期並みの売上を確保できました。

建設機械部品関連の売上高は、国内や中国での販売が伸びたことにより前年同期と比較し増加いたしました。

誘導加熱装置関連の売上高は、国内や韓国での販売が伸びたことにより前年同期と比較し増加いたしました。

この結果、売上高は15,187百万円(前年同期比17.7%増)、営業利益は1,093百万円(前年同期比26.1%増)となりました。

#### ③ その他

当該セグメントは、報告セグメントに含まれない不動産賃貸事業等であります。

当社保有の賃貸物件については、小規模ではありますが安定的に業績に寄与しております。

この結果、売上高は65百万円(前年同期比2.4%増)、営業利益は29百万円(前年同期比0.0%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は83,564百万円(前連結会計年度末比1.8%増)となりました。この主な要因は、受取手形及び売掛金が減少したものの、現金及び預金や有形固定資産が増加したことなどによります。

当第2四半期連結会計期間末における負債は17,203百万円(前連結会計年度末比7.6%増)となりました。この主な要因は、支払手形及び買掛金が減少したものの、長期借入金が増加したことなどによります。

当第2四半期連結会計期間末における純資産は66,361百万円(前連結会計年度末比0.4%増)となりました。この主な要因は、為替換算調整勘定が減少したものの、利益剰余金が増加したことなどによります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末における自己資本比率は71.8%となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年3月期の業績予想につきましては、「平成30年(2018年)3月期 決算短信」(2018年5月10日)公表時点から修正は行っておりません。

なお、予測数値は現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により開示した予測数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	14,110	14,946
受取手形及び売掛金	12,293	10,859
電子記録債権	3,907	4,567
商品及び製品	940	1,029
仕掛品	1,820	1,645
原材料及び貯蔵品	1,844	2,031
その他	1,516	1,804
貸倒引当金	△29	△25
流動資産合計	36,404	36,858
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,567	8,660
機械装置及び運搬具（純額）	10,224	11,181
土地	9,933	9,912
建設仮勘定	1,948	1,999
その他（純額）	305	347
有形固定資産合計	30,980	32,101
無形固定資産		
借地権	744	701
のれん	1,282	1,128
その他	152	147
無形固定資産合計	2,179	1,977
投資その他の資産		
投資有価証券	11,825	11,950
長期貸付金	39	38
退職給付に係る資産	103	86
その他	659	632
貸倒引当金	△81	△81
投資その他の資産合計	12,546	12,626
固定資産合計	45,706	46,705
資産合計	82,110	83,564

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,046	2,702
電子記録債務	5,083	5,078
短期借入金	1,478	1,395
未払法人税等	672	656
賞与引当金	619	661
その他	2,696	2,654
流動負債合計	13,597	13,148
固定負債		
長期借入金	785	2,424
退職給付に係る負債	899	894
その他	707	735
固定負債合計	2,392	4,054
負債合計	15,989	17,203
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,418	6,418
資本剰余金	4,758	4,724
利益剰余金	48,521	49,448
自己株式	△2,461	△2,462
株主資本合計	57,236	58,129
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,541	1,715
為替換算調整勘定	1,093	229
退職給付に係る調整累計額	△66	△36
その他の包括利益累計額合計	2,568	1,908
非支配株主持分	6,315	6,323
純資産合計	66,120	66,361
負債純資産合計	82,110	83,564

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
売上高	23,165	26,080
売上原価	17,851	20,268
売上総利益	5,313	5,811
販売費及び一般管理費	3,663	3,916
営業利益	1,650	1,894
営業外収益		
受取利息	23	33
受取配当金	98	105
持分法による投資利益	82	97
為替差益	22	43
その他	60	121
営業外収益合計	287	400
営業外費用		
支払利息	17	22
その他	5	4
営業外費用合計	22	26
経常利益	1,915	2,268
特別利益		
段階取得に係る差益	1,221	—
投資有価証券売却益	252	—
固定資産売却益	0	1
受取保険金	—	3
補助金収入	7	0
特別利益合計	1,480	4
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	1	18
減損損失	1,134	—
その他	—	1
特別損失合計	1,137	20
税金等調整前四半期純利益	2,258	2,252
法人税等	609	606
四半期純利益	1,649	1,646
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,432	1,377
非支配株主に帰属する四半期純利益	216	268
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	218	172
為替換算調整勘定	△97	△783
退職給付に係る調整額	55	30
持分法適用会社に対する持分相当額	46	△265
その他の包括利益合計	223	△845
四半期包括利益	1,872	801
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,736	717
非支配株主に係る四半期包括利益	135	83

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益又は損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他(注)	合計
	製品事業部 関連事業	I H事業部 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,192	12,908	23,101	63	23,165
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	1	1	—	1
計	10,192	12,910	23,103	63	23,167
セグメント利益	754	867	1,621	29	1,650

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,621
「その他」の区分の利益	29
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	1,650

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他(注)	合計
	製品事業部 関連事業	I H事業部 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,827	15,187	26,014	65	26,080
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	2	2	—	2
計	10,827	15,189	26,017	65	26,082
セグメント利益	772	1,093	1,865	29	1,894

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,865
「その他」の区分の利益	29
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	1,894

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。